



NPO法人でんでん虫の会 代表 熊本YMCA常議員
 吉松 裕蔵 さん

「なんでん・かんでん」を合言葉に

「なんでん・かんでん・いつでん・どこでん・だれでん・かれでん」をモットーにひとり暮らしの会員同士がお互いを支えあうことを目指して活動するNPO法人でんでん虫の会。その代表を務めるのが熊本YMCAの常議員である吉松裕蔵さんです。

76歳の吉松さんとYMCAの出会いには10歳の時。「初めて参加したキャンプで、歌を歌ったりゲームをしたり、とにかく楽しかった。いつもの自分とは違う自分を発見できました。家族や学校で持たれていたイメージの型にはまらず、ありのままの自分を受け入れてくれると感じました」と当時を振り返ります。

吉松さんは高校生時代に教会に通い始めて洗礼を受け、大学で学生YMCAに入部し、卒業後に熊本YMCAに就職。横浜、福岡、北九州、熊本、長崎のYMCAで様々な業務に就き30年間勤務しました。退職後もボランティア会員として関わり、現在は会員の代表である常議員としてYMCA運動を支えています。

転機は長崎YMCAに勤務していた48歳の頃。人生を24年区切りに考えていたという吉松さんは「24歳までは勉強をして基礎づくり。48歳まで仕事をガンガンして、その後の72歳までの第3ステージをどうすごすか考えていた」と語ります。何か資格を持っておかねばと考え、長崎YMCA在職中に通信制で社会福祉士を学びはじめました。「資格を持っておけばソーシャルワーカーとつながれるし、自分の将来や老後のため」と受験に至った理由を「不純な動機」だと笑います。

「ひとりじゃない社会」のために

悲しみと「なぜ」から生まれた活動

でんでん虫の会の立ち上げのきっかけはホームレス支援活動でした。資格を活かし、熊本で福祉関連の仕事をしていた吉松さん。転機は2004年1月に訪れました。

「寒い日に私の通う草葉町教会に剪定ばさみを持って『仕事をさせてください。お金も住むところもない』という人が訪ねてきたんです。年齢を聞くと55歳。当時の自分と同じ年と知り、衝撃を受けました。ホームレスが他人事でなくなった瞬間です」。吉松さんは本業の傍らでホームレス支援を行うボランティア活動に参加し、顔の見える関係をつくりながら、家のない人々のアパートへの入居を手助けするなどの生活支援を始めました。200名ほどを不動産屋とつなぐことができ、活動も軌道に乗っていた2010年春、吉松さんに1本の電話がかかります。支援を通してアパートに入居していた方が亡くなり、2カ月後に発見されたという連絡でした。吉松さんは悲しみと共に、「なぜ」という気持ちが湧き起こったといいます。「ボランティアやホームレスの皆さんと話すうちに、支援を受ける側が、『ここまでやってもらったから、あとはなんとかしないと』と、遠慮してしまうことに気づかされました。」「いつでも何かあったら言ってね」という環境づくりの大切さを痛感したといいます。それで始めたのが「なんでんかんでん、だれでんかれでん」つながることができる「でんでん虫の会」です。

「そのままでもいいよ」と言える社会へ

でんでん虫の会は医療機関・フードバンク・地域包括支援センター・行政など様々な機関と連携しながら、経済的な生活困窮に加え、社会的なつながりが弱くなっている人々が必要とする支援に取り組んでいます。「あそこに行けばだれかがいる、安心できる場があれば」という自殺未遂者の一言で始まったでんでん虫の会の「おしゃべり会」にはだれでも参加することができ、現在、YMCAでも3拠点で行われています。



おしゃべり会の様子

活動を始めて15年。「周りからは『支援している』と見られるけど、私の居場所が与えられている。役割が与えられている」と吉松さん。「子どもの頃にYMCAのキャンプで経験した、その人のことをそのまま受容するという経験や『ひとりじゃない、ともにいるよ』と、相手に向き合っていくYMCAやキリスト教の価値観が今の活動のベースにある」といいます。

吉松さんは「生きづらさを抱えている人は皆さんの身近にもいるでしょう。それは家族かもしれない」と語ります。「そういう人たちに『一緒に生きていきましょう』と声をかける。声をかけられなくても、心を配る。あなたはそのままいいと受け止める。そういう時間や空間や仲間が増えるといいかな」。人々の心のよりどころをつくり、「ひとりじゃない」と思える社会にしていけるために、吉松さんは今日も奔走します。

Pickup

スプリングキャンプ

「薪づくりにチャレンジ」
 春のわくわくデイキャンプ



「クラフトで
 マイ箸づくり」
 春のドキドキ
 チャレンジキャンプ

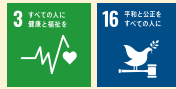
「魚釣りに挑戦」
 3日間の自然遊び
 満喫キャンプ



I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

ミャンマー地震緊急支援募金



2025年3月28日に発生した地震によりミャンマー国内各地において甚大な被害が発生しています。

ミャンマーでは旧ビルマ時代の1897年からYMCAの活動が始まり、現在は全国の31の地域にYMCAがあります。ミャンマーYMCAは日頃から地域コミュニティで子どもたちや高齢者のための活動をしており、地震発生直後からミャンマー・スカウト協会と協力し、被災者の方々への支援活動を展開しています。現地ミャンマーYMCAからの支援要請に応えるため、私たち日本のYMCAも緊急支援募金を実施します。

募金は、アジア太平洋YMCA同盟等を通じて、マンダレー、ネピドー等、ミャンマーYMCAが行う支援活動のために用いられます。皆様のご協力をお願いします。

☎ 熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397

日本YMCA同盟Webサイト▶



被災した市街地(ミャンマーYMCA同盟提供)



被災者への食糧配布(マンダレーYMCA)



仕事帰りにボランティア 第20回チャリティ ボウリング大会



企業
×
社会貢献

企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が主催し、チャリティボウリング大会を行います。今回は20回目の記念大会です。各企業の社員が平日の仕事帰りにチャリティを目的にボウリングをプレーします。

本大会の益金は、海外にルーツを持つ子どもたちの支援に充てられます。

☎ 6月13日(金) 18:30～20:30 内 4名1チーム×2ゲーム

場 ボウリング王国スポーツ熊本(中央区手取本町4-1 大劇会館4・5F)

費 10,000円(ゲーム代、シューズ代込み)



詳細・お申し込みは

Webで▶



大学生・専門学校生が活躍 YMCAユース ボランティアリーダー募集



ユース
×
未来

YMCAでは、ユース(若者世代)が権利主体として自分の内なるパワーやさらなる可能性に気づき、主体的に行動していくこと、そのためのプロセスを「ユース・エンパワーメント」と呼んでいます。YMCAの活動に参画してくれるユースを募集しています。



こどもスポーツプログラム(水泳・体操・サッカー)・ 成人ウエルネス

幼児、小学生対象のスポーツスクールの指導補助やフィットネス施設でのトレーニングサポート、プール監視、受付業務などを行います。

場 みなみグローバルコミュニティセンター(熊本市南区田迎)・ながみねファミリーセンター(熊本市東区長嶺南)・むさしグローバルコミュニティセンター(合志市 こどもプログラムのみ)



野外教育

キャンプの企画や準備、運営を行います。子どもたちと共に、自らの成長を実感することができます。



ぷらっとほーむ

不登校の子どもたちに安心できる居場所を提供し、自己肯定感と自己効力感を育むための支援プログラムです。

場 東部グローバルコミュニティプラザ(熊本市中央区帯山)



2025年度熊本YMCA定時会員大会

熊本YMCA会則第30条により熊本YMCA定時会員大会を開催します。今回も対面式を基本とし、会場を本館、および、阿蘇市のYMCA阿蘇キャンプの2会場にて実施します。礼拝、表彰、報告会のほか、グループディスカッションを予定しています。参加のご案内は維持会員の皆様に別途お知らせします。

☎ 5月23日(金) 18:30開始 21:00終了(予定)

場 本会場 熊本YMCA本館/グローバルコミュニティセンター(熊本市中央区段山本町4-1)

サテライト会場 YMCA阿蘇キャンプ(阿蘇市車帰358)

※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください

日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 条 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他

R | E | P | O | R | T

社会貢献

企業人らが合同研修 みんなのボランティア入門講座



YMCAフィランソロピー協会事務局 作本達朗

4月2日(水)・3日(木)に熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターにおいて、YMCAフィランソロピー協会主催「第30回みんなのボランティア入門講座」を開催しました。5つの企業・団体から28名が参加し、学びを深めました。

NPO法人「自立生活センター ヒューマンネットワーク熊本」より村上博さんを講師に招き、参加者は会話などの普段当たり前にできていることを意

図的に制限した食事介助や車いすの乗車、介助を体験。介助する側、介助される側を相互に体験してそれぞれに何が必要なのかを実感するとともに、グループ討議で意見交換をしました。

参加者からは「コミュニケーションが大事だと改めて感じさせられた」「車いすの操作が難しかったことはもちろんだが、相手の気持ち・立場になることの大切さを感じた」といった声が聞かれました。今回の講座での学びが広がっていき、豊かな社会へとつながっていくことを願っています。



トラベル

自然の神秘にふれる 富士山の溶岩洞窟探検



YMCAトラベル 堤雄一郎

3月31日(月)～4月3日(木)の日程で第4回「富士山の雄大な自然と神秘の溶岩洞窟を訪ねる4日間の旅」を実施しました。山頂への登山だけではなく富士山の様々な魅力を体感する本旅行はYMCAトラベルの主催旅行であり、参加者は10名、現地参加1名、スタッフ含め計13名。静岡県御殿場市にある国際青少年センターYMCA東山荘を宿泊

拠点としました。

YMCA東山荘滞在中は終日雨でしたが、富士山へ向かうと一転して雪に変わり、神秘的な光景の中で雪遊びも楽しみました。青木ヶ原樹海の散策、450mにおよぶ大洞窟の探検、五合目の残雪ハイキングなど、大自然の魅力を全身で感じる旅となりました。寝食を共にした参加者同士がまるで一つの家族のような時間を共有し、心豊かな旅を楽しむことができた4日間でした。



日本語教育

7カ国から入学



熊本YMCA学院 日本語科 尾道一幸

4月11日(金)に熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで熊本YMCA学院日本語科の入学式を挙行了しました。2025年4月期生として中国、ベトナム、台湾、ネパール、ミャンマー、フィリピン、スリランカの7カ国から41名が熊本YMCA学院日本語科に入学しました。彼らは、これから2年間日本語学習に励み、大学や専門学校への進学、あるいは日本国内での就職を目指します。

YMCA学院日本語科入学式を挙行

式では、新入生を代表してネパール出身の男子学生が挨拶。母国で勉強してきた日本語を使い、一生懸命に新生活の決意を述べました。それに対して、同じくネパール出身の在校生が先輩としてのアドバイスを交えながら歓迎の言葉を贈りました。奏楽は熊本YMCA学院子ども保育科の学生が担当し、伴奏にあわせて讃美歌を歌いました。同じ校舎の中に日本人の学生がいることも本学院の特徴の一つです。今後も日本語学校と専門学校の学生が交流し、多文化理解を深めることを願っています。



熊本YMCA 総主事 伊藤 眞太郎

マ

ナ

Vol.2

愛と勇気と希望のしるし

この春から始まったNHKの朝ドラ「あんぱん」は、『アンパンマン』の作者・やなせたかしさんと妻・暢さんの歩みを描いています。やなせさんは、戦争で最愛の弟を亡くし、戦後の混乱の中で長く苦しみましたが、夫婦で夢を諦めず歩み、『アンパンマン』にたどり着きました。

アンパンマンは、自分の顔を差し出して人を助ける、優しいヒーローです。力で相手をねじ伏せるのではなく、相手を思う心と行動によ

て人を救うその姿は、「本当の強さ」とは何かを私たちに問いかけます。また、ばいきんまんを否定せず、共に生きる存在として描かれる姿からは、誰の中にも可能性や善があると信じる「やさしさ」と「希望」が感じられます。さらにアンパンマンは、空を飛べても傷つきやすく、顔もすぐに欠けてしまいます。新しい顔が届くまで耐え、ボロボロになっても「誰かのために何かをしたい」と願い続ける姿は、目立つ力よりも、一貫した想いと行動の尊さを教えてくれます。ヒーローとは、特別な力を持つ人ではなく、小さな善を諦めない人なのだと気づかれます。

いま世界では、様々な分断や対立、不安定さが広がり、日本においても先の見えない不安や孤独を抱える人が少なくありません。だからこ

そ、強さや正しさを競い合うのではなく、誰もが「そっと寄り添い合い、共に生きる」社会が必要だと感じます。目の前の人に心を向け、小さなやさしさを重ねることが、世界にあたたかさを灯していく。YMCAもまた、そんな希望をつなぐ存在でありたいと願います。そして、きっと誰もが、誰かのアンパンマンになれるのです。

新しい年度がはじまりました。今年度の基本聖句は「何事も愛をもって行いなさい。(コリントの信徒への手紙一 16章14節)」です。「本当の強さ」と「やさしさ」とは何か、「愛」とは何かを考えてみると、そのすべてのやさしさも、強さも、愛もまた、マナ(恵み)として神様から静かに与えられているのだと、あらためて感じさせられます。

2025年度 YMCAで私がやりたいこと

YMCAのプログラムや学校、園に通う皆さんに、2025年度にやりたいこと、目標を聞いてみました。



(写真左から)
古閑 叶子さん 下田 真由さん 村岡 成実さん
本館／グローバルコミュニティセンター
英会話と世界のことは在籍生

先生と英語を使って会話をして、英語のスキルを向上させながら仲良くなりたいです。



(写真左から)
田中 健太さん 上村 亜門さん 青木 聖さん
東部グローバルコミュニティプラザ
ぶらっとほーむ在籍生

新しい出会いを大切に一年にして、新しいことにもチャレンジしたい。



KYPREOS TEDDY
JUNIOR DENISさん
熊本YMCA学院
ホテル観光科国際ビジネスコース学生
(フランス出身)

将来は立派な通訳者になりたいと思い、皆と仲良くなって一生懸命勉強をがんばりたい！



渡邊 あおさん
ながみねファミリーセンター
こども英会話スクール在籍生

英語を読む練習が楽しいからもっとがんばりたい。お母さんのお手伝いもがんばる。



長野 直樹さん
みなみグローバルコミュニティセンター
成人ウエルネス会員

足腰の衰えを予防するのが目標！ストレッチやプール・スタジオプログラムを楽しみながら筋力を強化して目標を達成する。



宗像 沙耶さん
むさしグローバルコミュニティセンター
チアダンス教室在籍生

柔軟を高めて最高のチアダンスができるように練習します！



テツ ウェイ アンさん
熊本YMCA学院
日本語科留学生(ミャンマー出身)

私は介護福祉士になりたいので、熊本YMCA学院で日本語のべんきょうをがんばりたいです。



早川 結彩さん
ながみねファミリーセンター
体操教室在籍生

チャレンジ体操のみんなに負けなようにがんばります。新しい技にもたくさんチャレンジしたいです！



舩田 光伶さん
みなみグローバルコミュニティセンター
ぶどうの木体育英語幼児園 園児

英語でね、ぬいぐるみの『にじいろうさぎ』とおしゃべりしたいな。



山本 爲己さん
むさしグローバルコミュニティセンター
水泳・体操教室在籍生

水に浮けるようになってクラゲのワッペンをとりたいたです。鉄棒の前回りもがんばります。



(写真左から)
岩切 隼太郎さん
純麗さん
Outdoor Club

いったことの無いキャンプ場、果物狩り、釣りにチャレンジしたい。(隼太郎さん)
きついことも多いけど去年よりも長い距離を歩いてみたい。(純麗さん)



柴田 亘さん
ながみねファミリーセンター
サッカースクール在籍生

お友だちやリーダーと毎週楽しくサッカーをしています。パスやドリブルがもっと上手になりたいです。



高橋 ひなのさん
YMCA熊本五福幼稚園 園児

運動会で組体操をがんばってやってみたい。前の年長さんがやっててカッコよかった。



吉野 遙真さん
YMCA赤水保育園 園児

体操教室でマットで回れるようになったから、鉄棒でも回れるようになりたい。



藤田 乙榎さん
YMCA永草保育園 園児

数字や文字のお勉強をやりたいな。

わたしと聖句

日本バプテスト東熊本キリスト教会
三上 充



出エジプト記 20章 2節

わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。

出エジプト記 20章 13節

殺してはならない。

その痛みを知っているあなたなら

出エジプト記 20:1-17には、主なる神様がモーセを通して古代イスラエル民族に与えてくださった「十戒」が記されています。キリスト教側が「十戒」と呼んでいるこの内容ですが、ユダヤ教側は「十のこゝろ」と呼びます。この呼び方もまた、神様の思いをしっかりと受け取っている呼び方です。

(プロテスタント教会の一般的分け方において)「十戒」のうちの8つは「あなたは〜してはならない」という「禁止の命令文」です。聖書で使われているヘブライ語の文法では、「禁止の命令文」と「二人称の否定の未来文」が完全に同じ形です。すなわち、「十戒」の「〜してはならない」と翻訳されている文は、「あなたは〜しないだろう／〜するはずがない」という意味も持ち得ます。「十戒／十のこゝろ」は、エジプトで長く奴隷とされ、多くの苦しみを経験した古代イスラエル民族に向けて語られています。ですからたとえば、「殺してはならない」という言葉は、「大切な存在を殺される痛み・悲しみ・苦しみを知っているあなたなら、誰かを殺すなんてことをしないでだろう／するはずがない」という、神様からの信頼と期待が込められた言葉として解釈することもできます。聖書の解釈は、いつも多様な可能性に開かれています。いのちをいかしていくメッセージになるべく受け取りたいと、私は願っています。

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)

発行人／伊藤 真太郎 編集／熊本YMCA ICR
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



公式LINE

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2025年度基本聖句

何事も愛をもって行いなさい
コリントの信徒への手紙一 16章14節